

見学会報告
桶ヶ谷沼のベッコウトンボ観察会
横山謙二

4月16日（日）に桶ヶ谷沼にて、ベッコウトンボの観察会を行いました。この観察会は、本来、15日（土）に予定していましたが、予定日が雨のため、この日に延期されたものです。幸いにも、この日は、雨が上がり、良い観察日和となりました。

観察会は、講師の福井順治さんの案内で、まず甕塚へと向かいました。

甕塚（こしきづか）に向かう途中の沼のほとりでは、トラフトンボを見ることができました。福井さんの話では、トラフトンボが桶ヶ谷沼で見られるのは珍しいとのことでした。

甕塚に到着すると、すぐにベッコウトンボが見られました。甕塚は、以前からベッコウトンボの保全活動が行われているところで、ベッコウトンボのヤゴをザリガニ等の天敵から守るため、増殖用の大型のコンテナが並べられているところです。それでも、一時期ベッコウトンボがほとんど見られない時期ありました。そこで、最近ではコンテナを設置するだけでなく、ベッコウトンボ成虫に卵を産ませた後に、他のトンボが産卵できないよう、コンテナに網をかけ、幼虫が羽化する頃に網を外すという、増殖方法を行っています。そのかいもあってか、今年は、ここ数年見たこともないくらいのベッコウトンボ成虫が見られ、中には羽化直後の個体も観察できました。

ここではベッコウトンボのほか、ヨツボシトンボやショウジョウトンボの羽化直後の個体も観察することが出来ました。

その後、桶ヶ谷沼の南側で、かつてベッコウトンボが多く見られた場所や沼の北側の保全活動を行っている所などを見学して観察会を終えましたが、他の場所では、あまりベッコウトンボの姿を見ることができませんでした。

解散後、桶ヶ谷沼の近くの鶴ヶ池により、トラフトンボなどのトンボをみてきました。



羽化直後のベッコウトンボ



成熟したベッコウトンボ



羽化直後のヨツボシトンボ



帰りによった鶴ヶ池で、トラフトンボを撮影